

1 基本情報

事業名称	中区魅力発信事業				
事業目的	市の伝統産業・地域資源の魅力を区内外へ広く発信し、文化芸術にふれる機会を提供することにより、歴史文化資源を身近に感じ、区民の地域への愛着を深める。				
事業概要	①市の伝統産業である注染の新作手ぬぐい展示・製品販売、雪花絞り染め体験を実施するイベントを開催する。 ②行基に関する歴史文化資源を巡るイベントを開催する。				
実施主体	中区役所企画総務課	実施場所	中区内	実施時期	①令和7年5月②令和7年11月

2 設定指標

活動指標	「浪華本染めく注染＞WEEK」イベントの参加者数		R4	R5	R6	R7
		目標				1,600人
		実績			1,598人	1,611人
成果指標	堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	71.3%
		実績	66.7%	72.3%	73.5%	76.1%

3 事業評価

決算額		231,239		円	
①妥当性	◎	②費用対効果	○	⑤総合評価	◎
注染・和晒は市の伝統産業であることや、注染（浪華本染め）は国の伝統的工芸品に指定されており、区内には製造工場が立地していることから、重要な地域資源となっている。また、国指定の史跡「土塔」は、中区土塔町に位置し、堺出身の僧である行基によって建立された歴史的価値の高い文化財である。 これらの魅力を市民に発信するイベントを実施しており、事業を実施する妥当性が非常に高い。	◎	①販売会の設営等は、協同組合オリセンが行っている。また、染め体験における職人の報償費についても販売の売上から捻出されており、経費の支出を抑えつつ、一定の効果を挙げることができた。 ②史跡「土塔」の特別公開日に合わせて講演会を実施することで、土塔を訪れる市民にイベントを周知することができ、また、交通手段について中区区民フェスタ会場とを結ぶバスを有効に活用することで、参加者を効率的に集めることができた。 以上のことから、本事業は費用対効果が高い。	◎	①今年度は、雪花絞り染め体験に定員を大幅に超える64名の方に参加してもらい、アンケートの満足度も高かった。また、商品の購入者や雪花絞り染め体験者に注染の端材で作った巾着袋をプレゼントで用意し、新たに注染の魅力を感じてもらえる機会を提供できた。 ②「史跡土塔」の特別公開日に合わせて、専門家による特別講演を開催したことで、来場者に行基や土塔の歴史的背景を深く理解する機会を提供することができた。講演では、専門的な知識を分かりやすく解説し、史跡の価値や中区の歴史的魅力を発信することができた。特別公開と講演を組み合わせることで、単なる見学にとどまらず、学びと体験が融合した充実したイベントとなり、中区の歴史に関心を深める効果が得られた。 以上のことから、本事業は区民利益につながる非常に有効な事業である。	◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	◎	④区の計画への寄与度	◎		
①協同組合オリセンと中区役所が連携しながらイベントの企画や運営を行い、事業を実施した。 ②堺行基の会と連携し、中区区民フェスタ、史跡「土塔」特別公開にあわせて、専門家による特別講演を実施した。 以上のことから、本事業は連携の度合いが非常に高い。		注染WEEKのイベント参加者数は1,611人で目標としていた1,600人を達成しており、成果指標の数値も向上していることから、計画における「伝統産業の活性化」の取組に大きく寄与している。			

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	注染WEEKのイベントについて、販売商品のラインナップが固定化しつつある。また、イベント参加者に注染の魅力を効果的に発信することができた一方で、参加者の年齢層には偏りが見られたため、若年層への情報発信については、さらなる工夫が必要である。	今後の方向性	継続
対応方針	販売商品を拡充するなどイベント内容の充実を図り、情報発信手法の強化や若年層向け施策を講じることで、より幅広い年代層の参加を促進する。		